IDEC YOKOHAMA

ニュースレター（年４回発行）

【発行】公益財団法人　横浜企業経営支援財団
〒231-0011　横浜市中区太田町２-23 横浜メディア・ビジネスセンター７F
TEL. 045-225-3700　FAX. 045-225-3737　http://www.idec.or.jp/

2013.10 No.7

大江電機のビジネス戦略
～人から繋がるアジア事業展開～

電気・生産設備に必要な制御機器や電設資材を扱う大江電機（南区、代表取締役・大江光正氏）は、アジア事業の展開を拡大しています。平成17年４月には上海に中国法人を設立、今年は６月に韓国営業所を現地法人化し、７月には中国の瀋陽にも事務所を開設しました。いずれも、社員として採用した外国人を現地責任者として登用している点が特徴です。

大江社長は、人のネットワークを重視する「人本主義経営」を企業理念とし、横浜国立大学や慶應義塾大学の留学生との出会いを大切にし、優秀な人材は国籍を問わずに採用してきました。

平成16年頃から取引先の海外進出が相次ぎ、各種部材を現地調達したいという依頼が増加しはじめました。ちょうどその時期に、ある外国人社員から家族の事情で帰国したいという希望が出され、これを生かし優秀な外国人社員に本国で活躍してもらうよう、本人に提案を行い、それが結果的に現地法人の設立に繋がりました。

海外進出に際しては、中小企業として規模に見合った投資額を定め、追加投資を行わないというルールを決めています。外国人社員はいずれもその期待に応え事業を軌道に乗せ業績もあがっています。

大江社長は、３年前から IDEC の仲介による台湾からのインターンシップ生を受入れており、昨年は研修生のなかから１名を社員として採用し、今年は金建沅さんを採用しました。金さんは、「将来は台湾に現地法人を設立したい」という夢を持っており、今後台湾が同社にとって新たな拠点となることが期待されています。

▲大江光正氏

「会社の目的は人を育てること。利益は継続するための手段である」と大江社長は話します。「本当は教育者になりたかった」大江社長は、アジアの人材との出会いとその育成、事業展開を自然体で行っています。

詳細は、IDEC国際ビジネス支援部 問 045-225-3730 までお問い合わせください。

研究開発資金の獲得は、ものづくりコーディネーターにご相談ください

▲ サファイア特殊加工品の一部

横浜ものづくりコーディネート事業は、中小製造業の新製品開発や新分野進出を応援するため、大手企業の技術者や総合商社の OB など、豊富な経験と実績を持った26 名の専門家が、企業の現場を直接訪問し、直面する課題や技術開発、販路開拓などについて、一歩踏み込んだ支援を行う事業です。このたび国と神奈川県の研究開発資金の獲得に成功しました。

サファイア等の単結晶製品、光部品の製造・販売を行う信光社（栄区）は、横浜国立大学、東京電機大学と連携し、半導体製造装置などへの応用が期待される「サファイア窓の開発・事業化」のテーマで中小企業基盤整備機構の「新連携事業」に採択され、１千万円を超える開発費を獲得しました。同社はこれまでにも助成金獲得に挑戦してきましたが、コーディネーターとの連携により、今回採択に至りました。

各種センサーを用いた組込み用モジュールの開発・製造を行う、おいぬビジョン（鶴見区）は、IDEC が中核的支援機関となって「電源多重方式を用いた上下水道管検査用センサモジュールの開発」のテーマで神奈川県の「新産業ベンチャー起業化支援事業」に採択され、２百万円を獲得しました。老朽化が懸念される公共インフラなどでの活用が期待されます。同社は、IDEC のリーディングベンチャープラザの入居企業であり、起業支援も兼ねてコーディネーターが採択に向けた支援を行いました。

国や県の研究開発資金の獲得には、技術力の高さだけでなく、様々なノウハウがあります。ぜひ、ものづくりコーディネーターにご相談ください。

詳細は、IDECホームページ http://www.idec.or.jp/renkei/monozukuri/　問 技術支援課 045-225-3733

ワンストップ経営相談窓口をご利用ください

創業や企業の経営課題の解決に向けて、ＩＤＥＣ職員・専門家がお手伝いをします！
TEL.（045）225-3711（財団本部）　TEL.（045）788-9571（金沢拠点）
www.idec.or.jp/keiei/

■ Pick Up

台湾貿易センターと連携覚書を締結

▲ TAITRA 趙秘書長と IDEC 屋代理事長

７月に台湾政府の貿易投資促進機関、台湾貿易センター（TAITRA）と貿易・投資などに関する覚書を締結しました。

IDEC は、TAITRA の付属教育機関である国際企業人材育成センター（ITI）と、平成 18 年から日本語科の学生を市内企業にインターンとして受け入れる事業を実施してきました。今回の覚書締結はこれまでの実績を踏まえ、双方の経済交流をより一層促進していこうというものです。

覚書の内容は、両地域の展示会・見本市出展の支援、視察団の相互派遣、投資、合弁事業および貿易に関するセミナーの開催や情報提供などです。

インターンシップについては、これまで台湾から受け入れるだけでしたが、双方向の交流の可能性を探ることを確認しました。早速、関東学院大学が、今年度中にゼミ生の ITI 訪問や来日時の学生間交流を計画しています。

提携事業の第一弾として、今秋、TAITRA 東京事務所長が講師となって、両岸関係の改善により変貌を遂げる台湾の現状や台湾企業とのアライアンスを探るセミナーを開催します。日台企業間では、相互補完など新しい協業モデルによる成功例が、ものづくりや研究開発だけでなく、サービス業などにも拡大しています。日本の「技術力」や「ブランド力」と、台湾の「グローバル志向」や「人脈」といった双方の強みを生かして、中国などのマーケットを連携して開拓するというものです。

過去半世紀の日本から台湾への投資件数は、計 7510 件と国・地域別で第１位です。平成 18 年以降第４次のブームとなっており、とくに平成 24 年は 619 件（4 億 1433 万米ドル）と件数ベースで過去最高になりました。また、台湾から日本への訪問者数は、今年１～５月の期間で 45.2%増を示し、双方の交流は様々な面で活発化しています。

のべ 171 名にのぼる横浜でのインターンシップ経験者とのネットワークを生かしながら、今後、台湾に関するセミナーやマッチングの機会を充実していきます。ご期待ください。

詳細は、IDEC国際ビジネス支援部　問 045-225-3730 までお問い合わせください。

3Dプリンタのプロジェクトが始まります！

今年２月、オバマ大統領は一般教書演説でアメリカに製造業を呼び戻すための目玉政策として 3D プリンタを取り上げました。また、クリス・アンダーソンの著書「Makers」によって、誰でも「作り手」になれるメイカームーブメントが巻き起こり、3D プリンタはにわかに注目されています。

3D プリンタには様々な手法があり、代表的なものは 3 次元データをもとに液体樹脂にレーザーを照射し、層を次々に重ねて立体に造形していくものです。IDEC は、これまでにも光造形技術としてこの分野に取り組んできた実績があり、今回、こうした蓄積を生かしながら、最近の傾向も採り入れ「横浜 3D 造形技術（Makers）研究会 2013」を開催しました。

第１回の研究会は、横浜国立大学の丸尾昭二氏にマイクロ光造形の専門家の立場から、様々な 3D プリンタの現状と課題について講演いただきました。また、ジェイ・エム・シー（JMC）の渡邊大知氏から、3D 造形技術のユーザーとして医療用のモデルなどを製作してきた実績を踏まえ、今後の展望などをうかがいました。

第２回は、慶應義塾大学の田中浩也氏を招き、市民が 3D プリンタなどを使って自由にものづくりができるワークショップ「ファブラボ」についてうがいました。また、工業製品の企画・設計受託などを行っている SHC 設計の増田恒夫氏から 3D プリンタの技術面での改善点などについて講演いただきました。

第３回は、新横浜の JMC 本社を会場に、我が国を代表する光造形装置メーカ、シーメットの荒井誠氏から 3D プリンタと樹脂材料の最新動向について講演をいただいたほか、JMC の渡邊氏のご厚意で、3D プリンタの実演見学会を開催し、業務用高精度タイプ、簡易普及タイプの比較など体験しました。

▲ 第２回研究会 慶應義塾大学
田中浩也氏　講演

今後、IDEC では、大学の研究者を核にコンソーシアムを立ち上げ、3D プリンタの開発やその応用などについて、国などの競争的資金の獲得も視野に入れたプロジェクトを開始します。詳細については、メールマガジン等でご案内します。ご期待ください。

詳細は、IDECホームページhttp://www.idec.or.jp/gijutsu/　問 045-225-3733

■ Pick Up

横浜市大の留学生インターンシッププログラムに協力

▲中国江蘇省出身の朱楓さん

IDEC は昨年度から、横浜市立大学インターンシッププログラムと連携し、市内企業への留学生受入支援を行っています。市内企業の留学生に対する関心は高く、今年は昨年の２倍近い 10 社から応募があり、マッチングの結果３社が受入れを行いました。

受入企業の語学学習講座を運営する IES 国際交流支援協議会（中区）の岡田めぐみ理事長は、留学生の朱楓さん（修士２年）について「日常の業務の改善点を第三者の目で指摘していただいた」と語り、「非常にまじめで性格も温厚、仕事はしっかりするし、時間もきっちり守る優秀な人材なので、用意していた研修プログラムでは足りなくなるくらいだった」と高く評価しています。

朱さんは、語学講座用にマンガを活用した独自テキストを作成したり、国際交流プログラムについて提案するなど、積極的に研修に取り組んでいました。日中の架け橋になりたいと来日した彼女は、卒業後は中国に戻って日系企業で貿易の仕事に就きたいという希望を持っています。

インターンシップ受入に関心がある方は、国際ビジネス支援部までお問い合わせください。

■ 新着情報

経営革新等支援機関に認定されました

昨年８月に「中小企業経営力強化支援法」が施行され、中小企業に対して専門性の高い支援を提供する経営革新等支援機関の認定制度がスタートしました。

機関の認定は昨年 11 月から順次行われてきましたが、IDEC は7月 10 日に関東経済産業局長から認定を受けました。早速、企業の皆さまから国の補助金申請に必要な事業計画の策定などについて、お問い合わせをいただいています。

また、中小企業庁では国や公的支援機関の支援情報・支援施策をわかりやすく紹介するポータルサイト「ミラサポ」を開設しました。このサイトには、創業・起業支援をはじめ、人財、海外展開、補助金、助成金・金融・税制・専門家の活用など様々な支援メニューがあり、オンラインで利用できます。（https://www.mirasapo.jp）

今回の認定を契機として、IDEC では、国、県、金融機関、民間を含む他の支援機関等と連携した企業支援を強化していきます。

詳細は、IDECホームページ http://www.idec.or.jp/keiei/
問 045-225-3714

事業継続計画（BCP）策定支援 新たにスタート!

東日本大震災以降、企業をとりまくリスクの対応に関心が集まっています。IDEC では今年度から、事業継続計画（BCP）策定支援事業をスタートさせました。

▲グループに分かれた演習作業

すでに７月から業種別の策定入門セミナーを実施しており、９月から 12 月までは個別企業へ専門アドバイザーを派遣しています。セミナーでは製造業や建設業などの業種ごとに簡易な BCP 策定ツールを用いて想定されるリスクを洗い出し、グループに分かれ自主的に対応策を検討しました。

なお、セミナーに参加できなかった企業の皆さま向けに、策定ツールを解説資料とともに、ホームページで公開しています。

専門アドバイザー派遣は、10 月中旬まで派遣希望の企業を募集中です。ぜひ、活用ください。

詳細は、IDECホームページ http://www.idec.or.jp/keiei/bcp/
問 経営支援課 045-225-3714

■ Column「IDEC上海事務所レポート」

上海のビジネスネットワークづくり

上海事務所副所長　川北 彰子

上海でビジネスネットワークづくりや情報収集によく利用されているのが、県人会や同窓会、趣味や遊びの集まりなどの様々な会合です。中には参加資格を厳密に定めている会もありますが、多くは気軽に参加でき、日本ではあまり接点のない人と知り合う機会となっています。

数多い会合の中でも横浜企業の方にぜひご利用していただきたいのが、当事務所が主催している「横浜産業倶楽部」です。３か月に１回、セミナーと懇親会を開催しているほか、工業団地等の視察会案内や中国で開催される展示会の出展案内、領事館等からのお知らせなど上海で役立つビジネス情報をメールで配信しています。参加資格は横浜に縁のある企業ということだけ！登録はもちろん無料です。次回の「横浜産業倶楽部」は11月７日(木)に開催予定です。出張時の飛び入り参加も大歓迎です。

詳細・ご登録は上海事務所までお問い合わせください。
（yokohama@idec-sh.com）

▲６月の横浜産業倶楽部

各種イベントを開催しています　/ 2013.10〜11 /

イベント名 / 会場	時期
テーマ別セミナー「見せるだけで注文が入る!営業チラシ・パンフレットの作り方」/ 大会議室 お客様の心を掴んで離さないキャッチコピーや原稿の作り方などを学びます。	10月８日（火） 18:30〜20:30
Smart City Week 2013 / パシフィコ横浜展示ホール スマートシティに関わる情報発信／共有／交換の場として、是非ともお越しください。	10月23日（水）〜25日（金） 18:30〜20:30
初心者にもわかる貿易実務講座（全３回）/ 大会議室 輸出貿易について実践的な書類作成から安全な取引までを学びます。 初日のみ 17:00 〜 18:00 講座終了後に名刺交換会を予定	10月30日（水）　11月11日（月） 12月11日（水） 全回14:00〜17:00
IDECビジネスフェスタ2013/ 横浜情報文化センター 講演会と情報交換会を開催します。	10月31日（木）
テーマ別セミナー「お客様を呼び込むホームページ活用術」/ 大会議室 ホームページやインターネットを上手に活用してお客様とつながろう！	11月５日（火） 18:30〜20:30
第63回横浜産業倶楽部/ 上海・新錦江大酒店 上海で関心の高い技術分野やアサヒビール㈱による循環型農業事例をご紹介します。 問い合わせ先　上海事務所　86-21-6841-5777	11月７日（木） 18：00〜21：00
ＥＴ（組込み総合技術展）2013「横浜パビリオン」/ パシフィコ横浜展示ホール 最先端テクノロジーとソリューションを一堂に集め情報発信！	11月20日（水）〜22日（金）

上記イベントはほんの一部です。詳しくはホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。　IDEC横浜　検索

メルマガ登録者募集中!

事業などの情報をタイムリーにお知らせするため、各種メールマガジンを配信しています。どなたでも登録できます。IDECホームページ　http://www.idec.or.jp/「財団からの情報」の「財団発行メールマガジン」をご覧ください。

■ Information

IDEC施設入居者募集

- 横浜新技術創造館（鶴見区：研究室・事務室）
- 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア（金沢区：研究室・事務室）
- 横浜情報文化センター（中区：事務室）
- 横浜市金沢産業振興センター（金沢区：事務室）

詳細はIDECホームページ http://www.idec.or.jp/「施設のご案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご覧ください。
問 施設経営部　045-225-3710

ワンストップ経営相談のご案内 －お気軽にご利用ください－

創業や経営、技術、国際ビジネスなど様々な課題について、IDEC職員や専門家が無料（一部のものを除く）でお答えします。

窓口相談（直接、お越しください）
IDEC本部や金沢産業振興センターで企業の皆さまの様々な経営課題についてのご相談にお答えします。

専門家相談（事前申込制・申込方法は以下参照）
弁護士、社会保険労務士など分野別に曜日を決めてお答えします。法律（火曜日）、労務（金曜日）、IT活用（木曜日）

技術相談（事前申込制・申込方法は以下参照）
大手企業OBなどの専門家が中小企業の皆さまを訪問し、技術課題の解決をお手伝いします。

オンライン相談
IDECまで来る時間がとれない方向けに、ネットでの相談も受け付けています。

国際ビジネス相談（先着・事前申込制）
経験豊かな専門家が中国、タイ、ベトナムなどの対象地域や貿易取引など実務についてテーマごとの相談会を毎月開催します。スケジュールとお申し込みは、IDECホームページ「イベントのお知らせ」をご覧ください。

経営コンサルティング
経営革新や新規事業展開などを目指す中小企業に専門家が継続的コンサルティングを実施します。

申込方法　IDECホームページ http://www.idec.or.jp/ の「ニーズ別事業紹介」のメニューからご希望の事業を選び、各事業のページから相談事業を選んで申し込んでください。
なお、はじめて利用する方は、新規ユーザー登録が必要です（一部のものを除く）。

編集後記

IDEC ニュースレター７号をお届けします。今回は、台湾留学生の受入について取材を行い、財団事業を活用いただいた企業の「今」をお伝えする試みを行いました。お話をうかがい、ビジョンを持って会社を動かしておられる姿にとても新鮮な気持ちを覚えました。これからも皆さまの現場にうかがい、紙面づくりを行っていきたいと考えています。

また、本号では台湾貿易センターとの覚書締結や大好評の 3D プリンタに関する研究会、ものづくりコーディネーターによる研究開発費獲得の支援など、注目トピックスを取り上げています。

小紙に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

正誤表

【ＩＤＥＣニュースレター　2013.10 №.7　４ページ目（４面）　各種イベント案内】

・ Smart City Week 2013／パシフィコ横浜展示ホール

【誤】10 月 23 日（水）～25 日（金）
１８：３０～２０：３０

⇩

【正】10 月 23 日（水）～25 日（金）
１０：００～１７：００